子ども読書のまち・防府

第 11 号　令和 4 年 7 月 19 日　防府市子ども読書フェスティバル実行委員会発行

第11 回　防府市子ども読書フェスティバル開催

令和4年6月5日(日)　9:45～15:15　　会場 ： ルルサス防府2階多目的ホール ・ 防府市立防府図書館

すごいぞ！ 那須正幹ワールド

～作品と思い出語り～

追悼座談会　10：00～11：30　ルルサス防府２階多目的ホール

児童文学作家

那須正幹さんを偲んで

中山　聖子さん（児童文学作家）
山本　安彦さん（山陽小野田市立中央図書館長）
横山　眞佐子さん（児童書専門店「こどもの広場」代表）
【司会】森川　信夫さん（山口大学ほか非常勤講師）

昨年７月逝去された那須正幹さんと、親交のあった児童文学関係者の方に那須さんの作品世界と人となりを語っていただきました。スクリーンには、多くの作家仲間や後輩たちに慕われた那須さんの姿が映し出されました。広い知識と深い研究から生まれる作品は、子どもをはじめ多くの読者に楽しみながら考える力を育ててくれました。平和への希求は私たちが受け継いでいく大きな課題です。

充実した座談会は、4 人それぞれの強い思いが会場いっぱいの参加者に響いて、那須さんがすごい作家との認識を、改めて深くする機会になりました。

中山さん　　山本さん

横山さん　　森川さん

追悼展示

展示期間　6/5(日)～7/4(月)

ありがとう、那須さん

防府図書館　ブラウジングコーナー

賞状と盾

長年多くの作品の執筆を続けられた、那須さんの年譜や、防府図書館所蔵の多数の著作の一部をはじめ、訃報記事や自筆原稿、ご遺族からお借りした愛用の登山用具やアルバム、受賞の賞状や盾などが展示されました。

また、市民から寄せられた那須さんへのメッセージカードや、小学生と高校生が作ってくれた本の紹介 POP も合わせて展示しました。

那須さんの児童文学作家としての偉大さと親しみやすさの両方を知ることのできる展示は、約 1 ヶ月間防府図書館で観ることが出来ました。

年譜　・　訃報記事　・　自筆原稿

作品の一部

アルバム　・　登山用具

メッセージカード　・　POP

〈 あいさつ 〉

那須さんの子ども読書環境充実への貢献に感謝！

防府市子ども読書フェスティバル実行委員長　藤村　聡

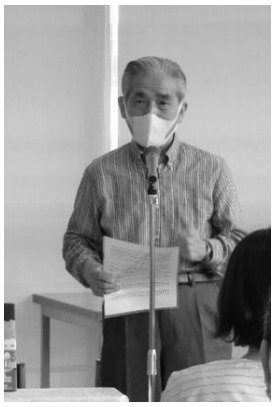
数多の児童文学作品の創作はもちろんですが、那須正幹さんは防府図書館を通じて、子どもたちの読書環境の充実に多大な貢献をされました。ご自身の多数の著作の図書館への寄贈をはじめ、「子ども読書フェスティバル」でも第 1 回目の 2011 年には物語『怪盗ブラックの宝物』の鼎談、2017 年には絵本『塩田の運動会』の座談会に登壇され、その作品について拝聴できました。また、防府図書館が 2006 年に桑山の旧図書館からルルサス防府 3 階に全面移転する際、「防府図書館を応援する市民有志の会」が開館祝として募金による 100 万円を図書費として寄付されましたが、その発起人になってくださり、しかも新図書館開館記念の児童文学講演会講師としての謝礼金をそっくり繰り入れていただきました。恒例の「防府図書館まつり」の際にも多くの児童書を寄贈くださり、ブックリサイクルで活用できました。

私たちも那須さんの揮毫「子どもは太陽　未来を照らす」を胸に刻みましょう。

那須正幹作品ブックトーク
私の好きな那須作品

13：00～14：00　防府図書館ブラウジングコーナー

那須作品に熱い思いがある５名が参加したブックトークは、多数の観客の心に響く時間となりました。那須さんの平和への願いを小学生の岡﨑さんが現在の世界情勢を踏まえて語ってくれました。有吉さんは初期作品に注目。中村さんは、小道具を用意され観客に強い印象を残しました。田中さんは、防府を舞台に描かれた作品を子どもたちにもっと読んでもらいたいと語られました。藤村さんは、事前に三田尻塩田公園に見学に行った知識の上に発表されました。ゲストの森川信夫さんと大野満臣防府図書館長に解説とコメントをいただきながら、那須さんの作品世界を知る貴重な時間になりました。



【発表作品】

・岡﨑美依さん
『絵で読む広島の原爆』
・有吉かおりさん
『チカちゃんは４年生』ほか
・中村緑さん
『時の石』ほか
・田中美穂子さん
『怪盗ブラックの宝物』ほか
・藤村聡さん
『塩田の運動会』

スペシャルおはなし会

14：15～15：15　防府図書館　研修室

【　出　演　】
おはなしでんしゃ
おはなしグループ森のくまさん

子どもたちがお待ちかねのスペシャルおはなし会は２つのサークルのお話を聞くことができる楽しい時間になりました。絵本だけでなく、紙芝居やエプロンシアター、ぬいぐるみも登場しました。マットの上に家族ごとにゆったり座ってもらうスタイルで、くつろぎながらおはなしの世界を楽しんでもらえました。

ワークショップ

オリジナルしおりを作ろう！

14：15～15：15　防府図書館　ブラウジングコーナー

色とりどりのペーパーナプキンを使って、使いやすいサイズのしおりを作りました。子どもから大人まで来場。

防府図書館でサークル活動をしている布絵本「結う」と図書館ボランティアまーぶるの皆さんが講師役を担当し、わずか 10 分で、オリジナルしおりが完成しました。

防府市図書館を使った調べる学習コンクール

《令和３年度》　応募数　小学生の部２１作品（２１名）、中学生の部６作品（６名）

【小学生の部】

金賞･･･「種なしブドウの種さがし～ヒントはイネにあり？！～」
熊野御堂樹里さん（華浦小学校５年）

銀賞･･･「真珠について知りたい！！」　瀧瑠依さん（富海小中学校小学部５年）

銀賞･･･「赤ちゃんの食事と成長」　梅田大雅さん（華城小学校６年）

銅賞･･･「『上様』二つありました！！～我が家の書き順大調査～」
相良綾香さん（右田小学校３年）

【中学生の部】

金賞は該当なし。

銀賞･･･「日々是忍術」　広田千聡さん（華陽中学校３年）

銅賞･･･「増加している水害の原因と私たちにできること」中村萌々華さん（桑山中学校２年）

＊学年は受賞時

～防府市立防府図書館の子ども読書支援～

夏休みは短かったけれど・・・

令和３年度は、コロナによる図書館の休館や、夏休みの期間短縮など、子どもたちが本に触れる機会が減り、当館の読書支援もなかなか思うように行えない一年となりました。そのような状況下ではありましたが、本年より開始した読書感想文教室は、申し込み開始後すぐに定員いっぱいになる人気企画となりました。この教室では、読書感想文を書くのが苦手な小学生の皆さんに、防府図書館長がワークシートを使って書き方のコツを伝授。子どもたちは、自分たちで選んだ本の感想文を完成させることができました。

また、ソラールの学芸員を迎え昆虫について学ぶワークショップ「むしむしイマジン」を実施。虫の知識を得ながら楽しい時間をすごすことができました。